

For Earth, For Life  
Kubota

ON YOUR SIDE

# 連結決算説明 2022年12月期第2四半期累計

(株)クボタ 代表取締役副社長執行役員 企画本部長  
吉川 正人

2022年8月4日 (木)



# 2022年12月期第2四半期累計連結決算概要

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)	2022年12月期 2Q累計	2021年12月期 2Q累計	増減		予想比増減 (期初予想)	
			金額	%	金額	%
売上高	12,605	11,014	+ 1,591	+ 14.4	+ 405	+ 3.3
国内	2,991	3,025	▲ 35	▲ 1.1	▲ 209	▲ 6.5
海外	9,614	7,989	+ 1,625	+ 20.3	+ 614	+ 6.8
営業利益	9.6% 1,210	13.4% 1,475	▲ 265	▲ 18.0	+ 10	+ 0.8
税引前利益	10.4% 1,316	13.6% 1,494	▲ 178	▲ 11.9	+ 106	+ 8.7
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	7.2% 912	9.3% 1,030	▲ 117	▲ 11.4	+ 62	+ 7.3

# 事業セグメント別売上高

(億円)	2022年12月期 2Q累計	2021年12月期 2Q累計	増減	
			金額	%
<b>機械</b>	<b>10,962</b>	<b>9,413</b>	<b>+ 1,549</b>	<b>+ 16.5</b>
国内	1,556	1,604	▲ 48	▲ 3.0
海外	9,406	7,809	+ 1,597	+ 20.5
<b>水・環境</b>	<b>1,527</b>	<b>1,466</b>	<b>+ 62</b>	<b>+ 4.2</b>
国内	1,319	1,286	+ 34	+ 2.6
海外	208	180	+ 28	+ 15.6
<b>その他</b>	<b>116</b>	<b>136</b>	<b>▲ 20</b>	<b>▲ 14.7</b>
国内	116	136	▲ 20	▲ 14.7
海外	0	0	▲ 0	▲ 8.7
<b>売上高合計</b>	<b>12,605</b>	<b>11,014</b>	<b>+ 1,591</b>	<b>+ 14.4</b>

<b>国内売上高</b>	<b>2,991</b>	<b>3,025</b>	<b>▲ 35</b>	<b>▲ 1.1</b>
<b>海外売上高</b>	<b>9,614</b>	<b>7,989</b>	<b>+ 1,625</b>	<b>+ 20.3</b>

為替の影響（+800億円）を除くと、海外売上全体は+10%の増



## 機械 +1,549億円（国内：▲48 海外：+1,597）

### 日本

農機は経営継続補助金終了、米価下落の影響により減。

### 北米

トラクタは住宅市場の下落が見られるもバックオーダー解消の為の出荷が続く。建機、エンジンは政府のインフラ開発需要を背景に増。

### 欧州

建機は公共工事需要に支えられ増。エンジンも建産機市場の好調により増。トラクタは草刈シーズンに十分な在庫を供給できず減。

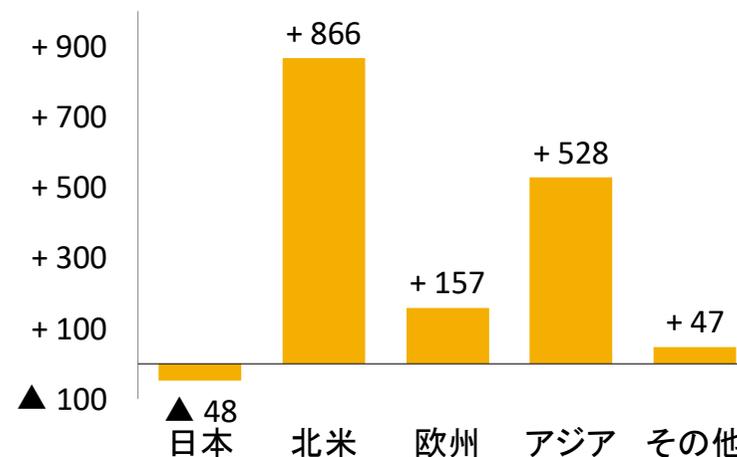
### アジア

タイは米価低迷により稲作向けは減少するも畑作市場の開拓が進み増。インドはエスコーツ社が連結対象となり大きく増。

### その他

需要が底堅い豪州を中心に堅調。

■ 機械仕向地別売上高増減（億円）



※2022年第2四半期よりエスコーツ社を連結子会社化

## ● 水・環境 +62億円（国内：+34 海外：+28）

### パイプシステム

- ・ 鉄管は配管業者の人員不足により工事は遅延傾向にあるが、値上げ効果により増
- ・ 合成管は建設向けが堅調、値上げ効果もあり増

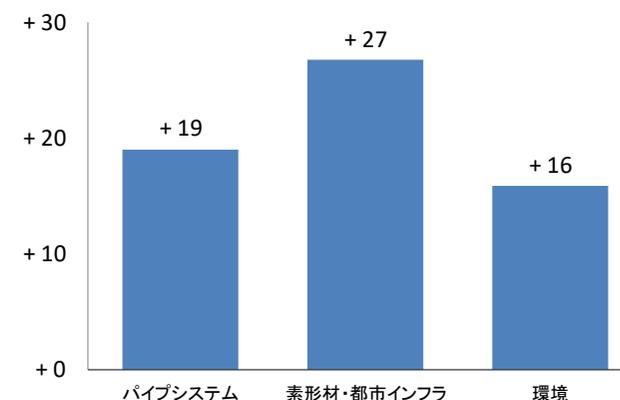
### 素形材・都市インフラ

- ・ 反応管は海外案件が堅調に推移。

### 環境

- ・ 上下水はO&M、PPP案件が増加し増

■ 水環境事業別売上高増減（億円）



## ● その他 ▲20億円（国内：▲20 海外：▲0）

物流など各種サービス事業より構成

(億円)	2022年12月期 2Q累計		2021年12月期 2Q累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	1,210	9.6	1,475	13.4	▲ 265	▲ 18.0

## 営業利益（▲265億円）の増減要因

<b>1.為替変動</b>	米ドル(108円→123円 ※1) ユーロ(130円→134円 ※1) 他	+140億円 +20億円 +50億円	<b>+210億円</b>
<b>2.為替差損益</b>			<b>+143億円</b>
<b>3.原材料</b>	機械（鋼材、買入部品 他） 水・環境（塩ビ、コイル 他）	▲333億円 ▲79億円	<b>▲412億円</b>
<b>4.インセンティブ率変動</b>	北米▲100億円 他		<b>▲91億円</b>
<b>5.増減販</b>			<b>+71億円</b>
<b>6.製品値上げ</b>			<b>+372億円</b>
<b>7.その他</b>	物流費▲178億円 研究費▲117億円 減価償却費▲43億円 など		<b>▲558億円</b>

※1：但し、日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レートは、米ドル105円→114円、ユーロ126円→130円程度

# 事業セグメント別営業利益

(億円)		2022年12月期 2Q累計	2021年12月期 2Q累計	増減
機械	売上高	10,962	9,413	+ 1,549
	セグメント利益	1,173	1,439	▲ 266
	利益率	10.7%	15.3%	▲ 4.6P
水・環境	売上高	1,527	1,466	+ 62
	セグメント利益	97	132	▲ 35
	利益率	6.3%	9.0%	▲ 2.7P
その他	売上高	116	136	▲ 20
	セグメント利益	17	16	+ 1
	利益率	15.0%	12.0%	+3.0P
全社/消去	セグメント利益	▲ 77	▲ 112	+ 35
計	売上高	12,605	11,014	+ 1,591
	営業利益	1,210	1,475	▲ 265
	利益率	9.6%	13.4%	▲ 3.8P

# 税引前利益・四半期利益

(億円)	2022年12月期 2Q累計		2021年12月期 2Q累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
税引前利益	1,316	10.4	1,494	13.6	▲ 178	▲ 11.9
四半期利益	1,020	8.1	1,131	10.3	▲ 112	▲ 9.9

## 四半期利益の帰属

親会社の所有者	912	7.2	1,030	9.3	▲ 117	▲ 11.4
非支配持分	107	0.9	102	1.0	+ 5	+ 5.2

(円)		2022年12月期	2021年12月期	増減
1株当り配当	(中間)	22 円	21 円	+ 1 円
	(期末)	(未定)	21 円	-
	(通期)	(未定)	42 円	-

## <株主還元の基本方針>

総還元性向：40%以上を目標とし、50%をめざす

- ・ 上限200億円(取得期間：2022年4月21日～12月15日)の自己株式取得枠は消化済み

# 財政状態計算書

(億円)		2022年12月期 2Q末	2021年12月期 期末	増減	為替を除く 増減
現金及び現金同等物		2,153	2,586	▲ 433	
営業債権		6,905	5,743	+ 1,161	+ 564
金融債権		16,984	14,104	+ 2,881	+ 337
棚卸資産		6,323	5,101	+ 1,222	+ 507
その他		13,175	10,201	+ 2,974	
<b>資産合計</b>		<b>45,540</b>	<b>37,735</b>	<b>+ 7,805</b>	
有利子負債		15,107	10,945	+ 4,162	+ 2,353
営業債務		3,933	3,923	+ 10	
その他		5,440	5,017	+ 423	
<b>負債合計</b>		<b>24,481</b>	<b>19,885</b>	<b>+ 4,595</b>	
親会社の所有者に帰属する持分		19,096	16,780	+ 2,316	
非支配持分		1,964	1,070	+ 893	
<b>資本合計</b>		<b>21,059</b>	<b>17,850</b>	<b>+ 3,210</b>	
<b>負債及び資本合計</b>		<b>45,540</b>	<b>37,735</b>	<b>+ 7,805</b>	
DEレシオ (ネット)		+ 0.68	+ 0.50	+ 0.18	
金融を除くDEレシオ (ネット)		▲ 0.13	▲ 0.21	+ 0.08	

# キャッシュ・フロー計算書

(億円)	2022年12月期 2Q累計	2021年12月期 2Q累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 220	508	▲ 728
金融債権の増加	▲ 379	▲ 993	+ 614
その他	159	1,501	▲ 1,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,266	▲ 453	▲ 1,814
有形固定資産及び無形資産の取得	▲ 806	▲ 570	▲ 237
その他	▲ 1,460	117	▲ 1,577
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,898	23	+ 1,875
為替レート変動の現金及び現金同等物に対する影響	156	68	+ 88
現金及び現金同等物の純増減	▲ 433	146	▲ 579
フリーキャッシュ・フロー	▲ 1,027	▲ 62	▲ 965

# 金融事業の状況 <ご参考（非監査）>

## 財政状態計算書

(億円)	2022年12月期 2Q末		2021年12月期 期末	
	金融事業	金融事業を除く ベース	金融事業	金融事業を除く ベース
<b>資産合計</b>	<b>19,486</b>	<b>26,901</b>	<b>16,364</b>	<b>24,058</b>
現金及び現金同等物	386	1,767	304	2,283
営業債権	326	6,608	307	5,446
金融債権	16,984	-	14,104	-
棚卸資産	-	6,323	-	5,101
有形固定資産	90	5,720	57	4,907
その他	1,700	6,483	1,594	6,321
<b>負債合計</b>	<b>16,380</b>	<b>8,774</b>	<b>13,840</b>	<b>8,558</b>
有利子負債	15,475	-	13,016	-
その他	905	8,774	824	8,558
<b>資本合計</b>	<b>3,107</b>	<b>18,127</b>	<b>2,524</b>	<b>15,500</b>

## 損益計算書（金融事業）

(億円)	2022年12月期 2Q累計	2021年12月期 2Q累計	増減	
	金額	金額	金額	%
<b>売上高</b>	<b>519</b>	<b>432</b>	<b>+ 86</b>	<b>+ 20.0</b>
<b>営業利益</b>	45.5% <b>236</b>	47.4% <b>205</b>	<b>+ 31</b>	<b>+ 15.3</b>
親会社の所有者に帰属する <b>四半期利益</b>	27.7% <b>144</b>	30.0% <b>130</b>	<b>+ 14</b>	<b>+ 10.9</b>

# 機械事業の市場環境

## 米国

コロナ特需で加熱したレジデンシャル市場は調整局面を迎えるが、農業市場やコマーシャル（商業向け）市場、インフラ工事需要は引き続き堅調。

## トラクタ/小売

個人向けは巣ごもり需要の一服により減。農業向けは牛肉や牛乳など農産物価格が良好で堅調、コマーシャル市場も安定。

## 建機/小売

住宅建設は調整局面を迎えるが、政府のインフラ工事需要により全体では堅調に推移。

## トラクタ・建機/卸売

リスクはあるものの港湾混雑は改善に向かい、ディーラー在庫の充足が進む。ディーラー在庫の充足完了は来年に持ち越す。

## エンジン/卸売

OEM客先需要が引き続き強く建産機向けを中心に好調。

## 欧州

農機市場はインフレ影響があるも前年並みを想定。建機市場は各国でのインフラ投資により好調。

## トラクタ/小売

農産物の価格も高く需要は底堅い。しかしインフレ、金利上昇による投資意欲の減少により市場は前年並みに留まる。

## 建機/小売

イタリア、イギリスでの優遇税制措置に加え、各国でインフラ投資が進み底堅く推移。

## エンジン/卸売

建産機、冷凍機向けの需要は引き続き好調。OEM先の増産要望に全て応えきれない状況が続く。

## タイ・ 周辺国

天候が安定し市場環境は良好。前年の政府事業の反動で稲作向けは縮小するも、畑作向けが好調で全体での販売は前年を上回る。

## 農機/小売

稲作市場は米価格保証制度による下支え等があるものの米価が低迷し減。畑作市場はサトウキビ、キャッサバが高値を維持し好調。

## 建機/小売

政府の景気刺激策による公共投資が増加し増。

## 周辺国/小売

ミャンマーは、不安定な現地通貨により小売価格が定まらず市場は停滞。

## 中国

排ガス規制前の駆け込みがあるもロックダウンにより田植機販売シーズンに出荷ができず、通年販売は前年を下回る。

## インド

政府の買取制限によりコメ市場は縮小傾向であったが、安定した降雨により下半期の米、小麦の収穫量が期待され市場は回復に向かう。

## 日本

農機市場は補助金終了、米価下落の影響により減。建機・エンジン市場は堅調に推移。

# 参考指標（米国）

## ■ トラクタ市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2021年	0-40馬力	+ 64.3%	▲ 1.9%	+ 1.2%	+ 2.9%	+ 15.2%	+ 10.5%	+ 8.9%
	40-120馬力	+ 34.0%	+ 11.4%	+ 4.9%	+ 3.8%	+ 19.3%	+ 13.8%	+ 11.1%
	120-160馬力	+ 29.8%	+ 16.9%	+ 29.2%	+ 18.7%	+ 22.1%	+ 24.5%	+ 22.7%
2022年	0-40馬力	▲ 10.8%	▲ 18.7%	-	-	▲ 15.8%	-	-
	40-120馬力	▲ 4.2%	▲ 13.4%	-	-	▲ 9.8%	-	-
	120-160馬力	+ 10.3%	+ 3.9%	-	-	+ 6.5%	-	-

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

## ■ 0-8tバックホー市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2021年		+ 38.0%	+ 30.4%	+ 7.4%	+ 2.1%	+ 33.5%	+ 23.4%	+ 16.8%
2022年		+ 11.0%	▲ 10.8%	-	-	▲ 1.9%	-	-

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

## ■ コンパクトトラックローダ市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2021年		+ 46.5%	+ 32.3%	+ 8.5%	▲ 7.1%	+ 37.9%	+ 26.5%	+ 15.2%
2022年		▲ 1.7%	▲ 9.1%	-	-	▲ 6.0%	-	-

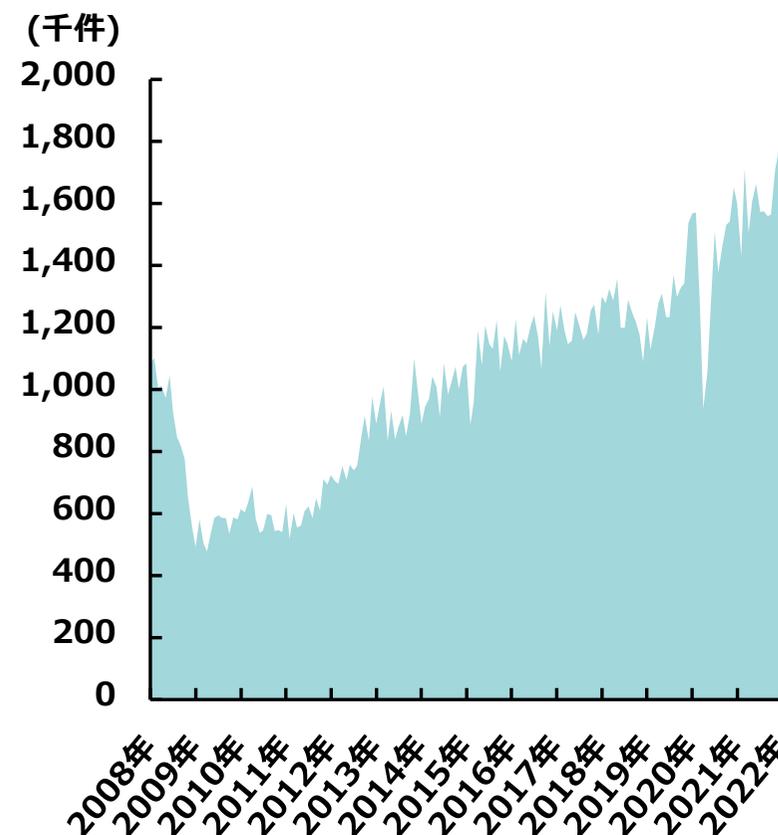
出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

## ■ スキッドステアローダ市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2021年		+ 14.8%	+ 27.1%	▲ 2.6%	▲ 21.6%	+ 21.1%	+ 12.3%	▲ 0.8%
2022年		▲ 20.3%	▲ 18.9%	-	-	▲ 19.6%	-	-

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

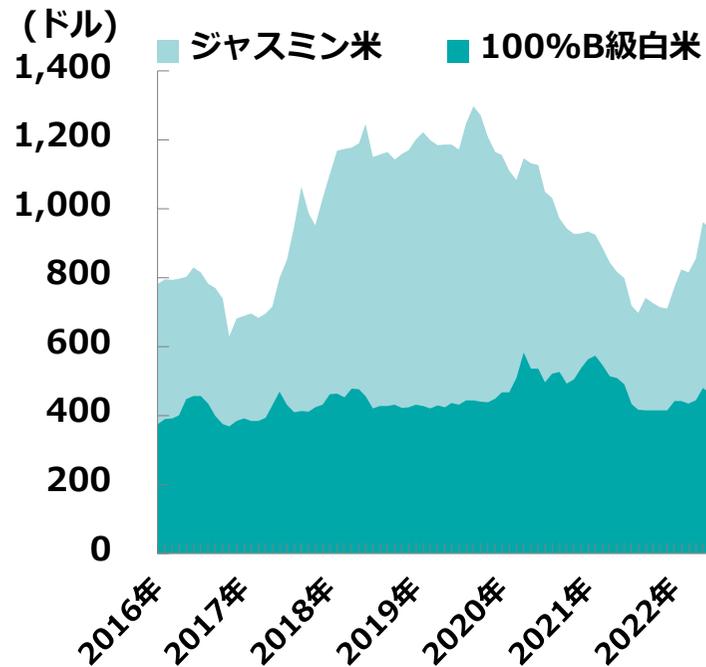
## ■ 米国住宅着工件数（季節調整済・年率換算）



出典：米国国勢調査局（U.S. Census Bureau）

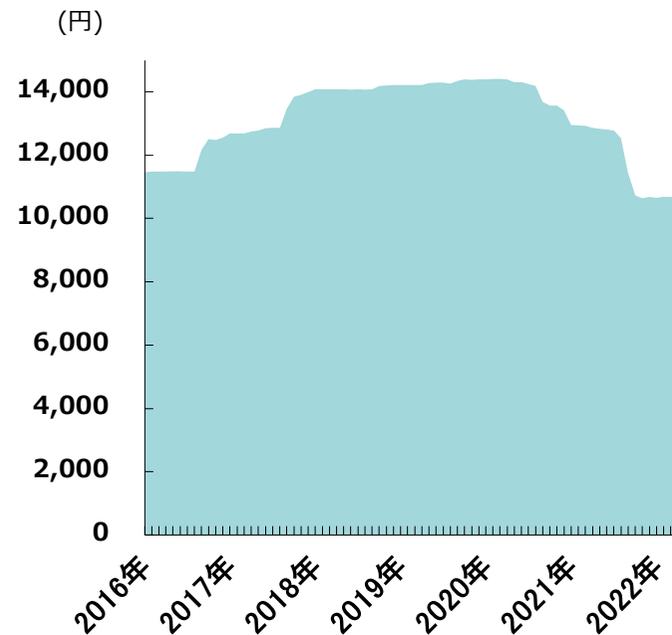
# 機械事業の動向（タイ・中国・日本） – 補足データ

■ タイ米輸出価格推移 ドル/トン



出典：米国農務省、タイ米輸出協会

■ 日本米の生産者価格推移 円/60kg



出典：農林水産省「農業物価統計調査」

■ 中国 中央政府農機購入補助金推移

		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
補助金(億元)	第1次	200	170	210	228	186	186	180	169	140	210
	年間計	218	238	238	237	186	186	180	274	190	

# 業績予想

# 2022年12月期業績予想

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)	2022年12月期 (予想)	2021年12月期 (実績)	増減		2022年12月期 (期初予想)
			金額	%	
<b>売上高</b>	<b>26,400</b>	<b>21,968</b>	<b>+ 4,432</b>	<b>+ 20.2</b>	<b>24,500</b>
<b>国内</b>	<b>6,260</b>	<b>6,028</b>	<b>+ 232</b>	<b>+ 3.9</b>	<b>6,450</b>
<b>海外</b>	<b>20,140</b>	<b>15,940</b>	<b>+ 4,200</b>	<b>+ 26.4</b>	<b>18,050</b>
<b>営業利益</b>	9.8% <b>2,600</b>	11.2% <b>2,462</b>	<b>+ 138</b>	<b>+ 5.6</b>	10.2% <b>2,500</b>
<b>税引前利益</b>	10.3% <b>2,730</b>	11.5% <b>2,526</b>	<b>+ 205</b>	<b>+ 8.1</b>	10.3% <b>2,530</b>
親会社の所有者に帰属する <b>当期利益</b>	7.0% <b>1,850</b>	8.0% <b>1,756</b>	<b>+ 94</b>	<b>+ 5.3</b>	7.3% <b>1,780</b>

# 事業セグメント別売上高予想

(億円)	2022年12月期 (予想)	2021年12月期 (実績)	増減	
			金額	%
<b>機械</b>	<b>22,800</b>	<b>18,648</b>	<b>+ 4,152</b>	<b>+ 22.3</b>
国内	3,120	3,105	+ 15	+ 0.5
海外	19,680	15,543	+ 4,137	+ 26.6
<b>水・環境</b>	<b>3,350</b>	<b>3,054</b>	<b>+ 296</b>	<b>+ 9.7</b>
国内	2,890	2,657	+ 233	+ 8.8
海外	460	397	+ 63	+ 16.0
<b>その他</b>	<b>250</b>	<b>266</b>	<b>▲ 16</b>	<b>▲ 6.0</b>
国内	250	266	▲ 16	▲ 5.8
海外	0	0	-	-
<b>売上高合計</b>	<b>26,400</b>	<b>21,968</b>	<b>+ 4,432</b>	<b>+ 20.2</b>

<b>国内売上高</b>	<b>6,260</b>	<b>6,028</b>	<b>+ 232</b>	<b>+ 3.9</b>
<b>海外売上高</b>	<b>20,140</b>	<b>15,940</b>	<b>+ 4,200</b>	<b>+ 26.4</b>

為替の影響(+1,750億円)を除くと、海外売上高は+15%の増

(億円)	2022年12月期 (予想)		2021年12月期 (実績)		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	2,600	9.8	2,462	11.2	+ 138	+ 5.6

## 営業利益 (+138億円) の増減要因

<b>1.為替変動</b>	米ドル(110円→127円 ※1) ユーロ(130円→135円 ※1) 他	+590億円 +40億円 +80億円	} <b>+710億円</b>
<b>2.為替差損益</b>			<b>+94億円</b>
<b>3.原材料</b>	機械 (鋼材、買入部品 他) 水・環境 (塩ビ、コイル 他)	▲594億円 ▲196億円	} <b>▲790億円</b>
<b>4.インセンティブ率変動</b>	北米▲308億円 他		<b>▲283億円</b>
<b>5.増減販</b>			<b>+260億円</b>
<b>6.製品値上げ</b>			<b>+1,054億円</b>
<b>7.その他</b>	物流費▲393億円 研究費▲210億円 減価償却費▲67億円 など		<b>▲907億円</b>

※1：但し、日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レートは、米ドル108円→123円、ユーロ129円→133円程度

# 事業セグメント別営業利益予想

(億円)		2022年12月期 (予想)	2021年12月期 (実績)	増減
機械	売上高	22,800	18,648	+ 4,152
	セグメント利益	2,800	2,504	+ 296
	利益率	12.3%	13.4%	▲ 1.1P
水・環境	売上高	3,350	3,054	+ 296
	セグメント利益	160	223	▲ 63
	利益率	4.8%	7.3%	▲ 2.5P
その他	売上高	250	266	▲ 16
	セグメント利益	40	37	+ 3
	利益率	16.0%	13.9%	+2.1P
全社/消去	セグメント利益	▲ 400	▲ 302	▲ 98
計	売上高	26,400	21,968	+ 4,432
	営業利益	2,600	2,462	+ 138
	利益率	9.8%	11.2%	▲ 1.4P

## ■ 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)	2022年12月期		2021年12月期
	(今回見直し)	(期初予想)	(実績)
設備投資*	1,800	1,900	1,214
減価償却費*	623	626	556
研究開発費	863	863	653

\* IFRS第16号「リース」の適用に伴う使用権資産の計上及び使用権資産に係る減価償却費は含まない

---

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

---



ON YOUR SIDE

ご清聴ありがとうございました。

**For Earth, For Life**  
**Kubota**